

港清掃工場におけるアンモニア水の漏えいとその対応について

日頃より、港清掃工場の運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
8月6日（火）12時ごろ、当工場に消防車が来場し、近隣の皆さまにご心配をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。

消防車来場の原因は、排ガス処理設備で使用するアンモニア水がアンモニア貯槽室内でタンクから漏れたことによるものです。

すみやかに流出防止処置を施したことから、漏えいによる影響はアンモニア貯槽室内に止めることができました。

今後は、再発防止を徹底し安全操業に努めてまいります。

- 1 発生日時 令和元年8月6日（火）10時50分頃
- 2 発生場所 港清掃工場1階アンモニア貯槽室
- 3 発生状況 アンモニア水を送るポンプの整備中に継手より漏えいしたため、直ちに工場職員で漏えい対策を実施しました。しかし、職員の二次的災害を考慮し12時6分に消防への要請を行い、消防の協力を得ながら、13時9分に流出防止措置を完了しました。
- 4 被害状況 (1) けが人等の人的被害はありません。
(2) 外部への影響はありません。
(3) 機器等への影響はありません。
- 5 処 理 等 漏えいしたアンモニア水を含む廃液は、専門業者により産業廃棄物として適切に処理を実施しました。
- 6 原 因 作業手順の確認漏れによる手元弁の閉め忘れによるものです。
- 7 再発防止 (1) 作業手順を確認するためのチェックリストを作成しました。
(2) 薬品関連作業での安全について、再教育を実施しました。
(3) 迅速・確実な薬品漏えい対策を行うための訓練を実施します。
- 8 焼却炉の状況 漏えいに伴い、稼働中であった2号炉及び3号炉を停止させましたが、16日から順次立上げを開始し、現在両炉とも稼働しています。
なお、1号炉は定期補修工事により停止中です。